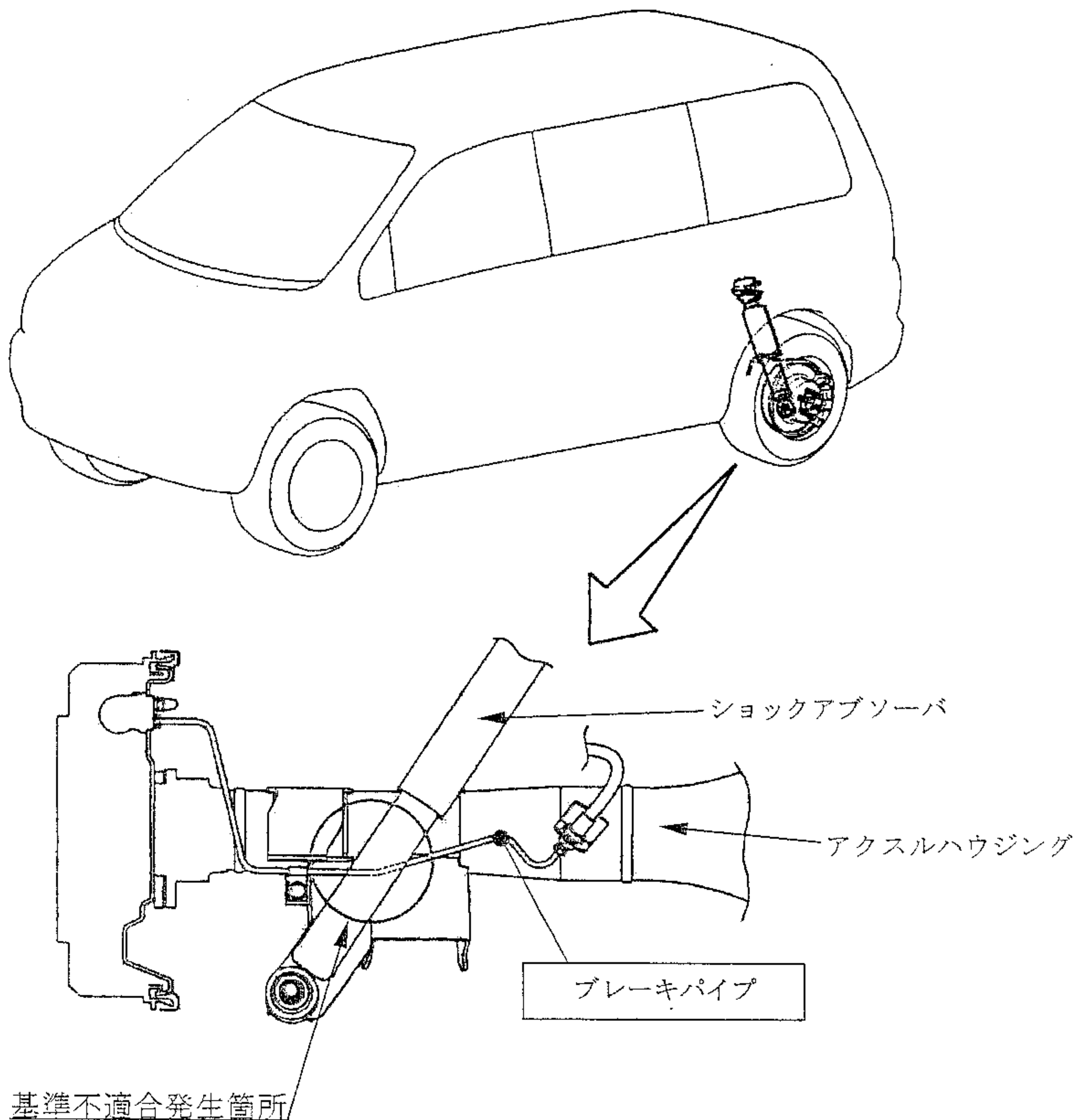




左後輪用ブレーキパイプの形状が不適切なため、ブレーキパイプ取付け時の変形によりショックアブソーバとの隙間が不足しているものがある。そのため、走行時にブレーキパイプとショックアブソーバが干渉することにより当該ブレーキパイプが損傷し、最悪の場合、ブレーキ液が漏れ制動力が低下するおそれがある。

改善の内容

全車両、左後輪用ブレーキパイプとショックアブソーバの隙間を点検し、隙間が規定値以下のものは、ブレーキパイプを対策品と交換する。

注： は交換部品を示す。

識別：助手席ドアローヒンジドア取付けボルト頭部に白色または黄色ペイントを塗布する。